

海外発送用の送り状をスムーズに発行

購入した店舗から直接発送で旅を快適に

SGホールディングスグループの佐川急便株式会社(本社:京都市南区、代表取締役社長:笹森公彰、以下「佐川急便」)は、商品を購入した店舗から直接海外に発送する際に使用する送り状発行の新たな運用を開始しました。運用開始の第1号として株式会社アルペン(以下「アルペン」)が運営する国内最大級のスポーツ用品店「AlpenTOKYO」において、2025年5月より提供を開始しています。

このたびの運用は、訪日観光客の対応強化や店舗運営のデジタル化に取り組まれていたアルペン様に協力いただき検討を重ねてきました。今後も増加が見込まれる訪日観光客の利便性向上に寄与する物流サービスを開発、展開するとともに、中期経営計画の重点戦略として掲げている「リアルコマース※」に注力していきます。

本運用は、訪日観光客のスマートフォンがあれば、言語や文字にとらわれることなく誰でもスムーズに海外発送に必要なインボイス対応の送り状を作成することが可能になります。また、購入品を持ち歩く必要がなくなるため、手荷物預かり所を捜す行為やコインロッカーの不足、観光地や公共交通機関での混雑などにストレスを感じる必要もなくなります。加えて、販売店舗スタッフの送り状発行作業も軽減され、店舗運営の効率化にもつながると見込んでいます。

—送り状発行までの流れ



佐川急便はこれからも、お客様のニーズに合った物流サービスの開発に注力するとともに、持続可能な物流の実現に寄与する取り組みを続けていきます。

※リアルコマース:コンシューマー(個人のお客様)が立ち寄る場所に提供する配送サービス

SGホールディングスグループの中期経営計画「SGH Story 2027」において、佐川急便は「リアルコマース」「越境 EC」「低温物流」を重点施策として掲げている